ICT学習指導案	帯広市立栄小学校	4学年	算数科

単元名　わり算の筆算

小単元　あまりのあるわり算

授業者：2組　担任　石垣　雄太

使用アプリ　**Jamboard**

本時の「評価規準」【思考力・判断力・表現力】
あまりのあるわり算について，既習の除法の計算方法と関連付けながら，考えを導き出している。

学 習 展 開	アナログとデジタルの活用
1　前時のわり算の筆算の計算の仕方を確認する。 72÷3＝24 2　問題を提示する。 76まいの色紙を3人で同じ数ずつ分けます。 1人分は何まいですか。 3　本時のめあてを確認する。 76÷3のとき方を説明しよう。	2　問題をノートに書く。 3　めあてをノートに書く。 Jamboardからスライドへ移行していき，プレゼンする力がこれからの子どもたちには必要だと考えます。
4　Jamboardに76÷3の答えを導き出す方法をまとめる。 （1）図　（2）筆算　（3）けん算 【思考】 5　同じ考えのグループで伝え合う。 【表現】（まず・次に・最後に を使って） 6　Jamboardの考えを見直す。 【判断】 1年を通して，Jamboardに書く→Jamboardを使って話す→Jamboardに書きながら話すを目指したいです。 7　全体交流をする。 【表現】 	4　ヒントの提示・説明で活用・可視化　の3点の理由でJamboardを活用。 【評価B基準】Jamboard1枚以上に自分の考えが書けている。 【手立て】小集団交流で周りの考えを聞いて書けるようにする。 7　全体へ指示をする場面や，考えを比較する場面でSkyを活用する。
8　本時の振り返りをする。 キーワードでまとめ【表現】 「あまりがあるわり算」「あまりがないわり　　算」「同じ」を入れた文章で書く。 9　練習問題をする。 ①75÷2＝　②93÷6＝ 自分たちで解決できたという納得感が得られる授業を目指したいです。	8　振り返りをノートに書く。 あまりがあるわり算もあまりがない　わり算もとき方は同じ。 9　計算をしてノートに答えを書く。

「振り返り」の工夫
キーワードをもとに，何がわかったのか自分の言葉で書くことによって，学んだことを整理する。

授業者より（実践してみて）